

まどか通信



社会福祉法人 まどか

〒720-0032 福山市三吉町南一丁目7番9号

☎ 084-928-1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/>

<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和8年1月1日

第81号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(5月・9月・1月 発行)



～ 明けましておめでとう御座居ます ～

理事長 神谷 和孝

一年の計は元旦にありと昔から言われていますが、元旦にお雑煮を食べながら、自分の迎えた新年の生き方の計画をたてたり、夢を描いたりしたことだと思います。

新年に発行される“まどか通信”の巻頭言の原稿を書くにあたって参考までに昨年の“まどか通信”を見てみると、その年の85歳の誕生日の感想を書いていたので、今年も86歳と言う年齢を迎えての感想を書いてみたいと思います。

正直いって私は90歳とか、100歳まで生きたいという願望は全くないです。一日が終わり就寝の時は今日一日が無事に終わったことを感謝し、朝起床する時には今日一日無事に過ごせますよう祈り、ということのくりかえしの中で、いつ終わるかわからない自分の一生の最後まで一生懸命に生きたいと思っています。この思いは年をとるごとに強く感じています。

この文を読んで下さる方は、私よりずっと若い方ばかりでしょうから、自分を大切にし、育て、人生の終わりに“いい人生だった”と言えるように頑張って下さい。自分を育てるのは、自分しかいないですから。

私が自分の胸中に大切にしている句がありますので記しておきます。

“年々に我がかなしみは深くして

ますますかがやく命なりけり”



Facebook では毎月の様子と
詳細もお知らせしていますので
巻末の QR からご確認ください。

紙面をご覧の皆様、明けまして
おめでとうございます。今年度から年3回の紙
面発行となり、今年度では最後の発行となります。
すみれ工房では昨年末や年始から就職された方々
もあり、新しい環境でのチャレンジを始められています。
半年は前進・飛躍の年、焦らず一歩ずつ確実
に「働く」、「働きたい」を応援していきます！

空き状況（1月1日現在）

移行支援

・・・ 随時受入可能

継続支援B型

・・・ 要相談

実習生 受入

7月8日から7月10日にかけて、市内の公立中学校から
「チャレンジ・ウィークふくやま 2025」として生徒1名
の受け入れを行いました。

元気一杯の生徒さんは屋内軽作業での作業準備や見守りなど支援員から業務内容についての説明を聞かれ、利用者さんと一緒に取り組んでいただきました。

初日は緊張されていましたが、最終日には休憩時間に学校生活の様子や福祉施設を体験先として希望された理由など利用者さんともたくさんのコミュニケーションを摑られていました。また、利用者さん顔負けの仕事ぶりで、利用者さんにとっても良い刺激になっていました。

職場体験



今年度は、就業体験として沼隈特別支援学校高等部から
7月と12月に生徒1名ずつの受け入れを行い、8月には、福山北特別支援学校高等部からも就業体験・職場実習として生徒1名の受け入れを行いました。

卒業後の進路や今現在の生徒自身にとってどんな環境や取り組みが合っているのか、数日間ではありましたが考えていくきっかけになってくれればと思います。

また、11月には福山北特別支援学校高等部1年生の生徒とその保護者を対象とした「福祉事業所合同説明会」にお声がけをいただき、参加させていただきました。当日の会場には福山市内や府中市内で活動している様々な福祉サービス事業所が参加されており、来場された数名の方がすみれ工房の事業所ブースを訪ねてこられ、事業所の取り組みや環境などを説明させていただきました。今後の進路や取り組みの参考になっていれば幸いです。



すみれ工房では、福山市医師会看護専門学校第一看護学科 精神看護実習の臨地実習先として、第一期生から看護学生の受け入れを続けています。

今年度は5月28日から10月30日の間に13期生56名の受け入れを行いました。各グループ2日間の6名前後での受け入れですが、利用者さんと一緒に活動していく中で、普段の活動の様子や生活のこと、これまで利用者さんが体験してきたこと、今後の展望やそれに向かって今取り組まれている課題など、学校のテキストでは学ぶことができない実際をたくさん学ばれています。

利用者さんにとっても、看護学生さんにこれまでの体験や今現在の取り組み、将来の夢などを話すことで改めて振り返る機会になっているのではないかと思います。自分たちが関わり、学ばれた学生たちが、この地域の医療を支える一人になっていってくれていると考えると、とても心強く感じています。



ふれあい障害者合同面接会

今年度も広島県と広島労働局が障がい等がある方へ向けて、合同就職面接会「ふれあい障害者合同面接会」を10月23日に開催されました。

当日は48社の企業が参加し、約120名の求職者が面接に臨み、すみれ工房からも1名の利用者さんが参加されました。

応募する企業の選定から履歴書や職務経歴書の準備、当日の身だしなみや面接での受け答えから立ち振る舞いなど、入念な準備をして臨みました。

結果は企業側の都合もあり思うような結果にはなりませんでしたが、この経験を糧に、次へ向けての準備も進められています。

何より、できることをやり切った自信に満ちた表情はとても印象的でした！



新しい作業にも取り組んでいます

他の福祉事業所の方からご紹介をいただける縁やスタッフの営業努力もあり、10月から2種類の新しい作業にも取り組むことになりました。お預かりした商品を梱包する作業と、お預かりした製品を商品になるように加工していく作業ですが、一つひとつを大切に、丁寧に取り組んでいます。

参加されている利用者さんはまだ少ないですが、とてもやりがいのある作業です。スタッフも一緒に確認しながら丁寧に取り組めるようサポートしています。

すみれ工房では色々な作業の中から、利用者さん自身で取り組む活動を選んでもらうようにしていますが、取り組める活動の幅が拡がることで、一人ひとりが持つ可能性も拡がり、少しでも希望する生活へ近づけるように、と思っています。





とまり木通信



活動報告

障がい者体育センターでスポーツレクリエーション！



みんなで福山市障がい者体育センターへ出かけました。

広い体育館で体を動かすと、気持ちも体もスッキリしますね。

卓球、バドミントンなど、それぞれが好きなスポーツを思い思いに楽しみました。

今回の取り組みは、地域活動支援センター事業の一つとして実施しているスポーツレクリエーションです。

利用者のみなさんの体力づくり・健康維持のために、年4回以上の開催を目標として、福山市障がい者体育センターをお借りして継続的に取り組んでいます。

広い空間でのびのびと体を動かすことで、運動不足の解消だけでなく、仲間との交流や気分転換にもつながっています。

これからも、楽しみながら健康づくりができるレクリエーションを続けていきます。



みんなの「感謝」があふれる作品展に参加しました！

障がいについての関心と理解を深める「障がい者週間」（12月3日～9日）に、まなびの館ローズコムで開催された作品展に、参加させていただきました！

今年の作品展のテーマは、心に響く「感謝」です。

市内の障がい者施設の皆さんのが心を込めて作られた、絵画、立体造形、切り絵など、創造性豊かな作品が会場を彩り、訪れた方々の目を楽しませていました。

とまり木のみんなの力作をご紹介！



クリスマス会 ～ Xmas party ～

12/16
12/20

毎年恒例となっている年内最後の行事。夏前に実施しているB B Q大会に次いで、利用者さんの多くが楽しみにしている行事かもしれません。

全国的に拡がっていますが、市内でもインフルエンザが流行していることを受け、今年も「すみれ工房」と「とまり木」それぞれでの実施となりました。

ミーティングで希望を募って、それぞれの事業所とともに2か所ずつに分かれての実施。普段、一人では行かないようなお店で賑やかなひと時を過ごしました。

しゃぶしゃぶ
檸檬



焼肉は“ぜったい”です！

焼肉 きんぐ



隠れた名品
たこ焼き♪





「法人内研修会」を実施しています

本法人では、身体拘束の適正化を含む虐待防止に関する委員会や感染症に関する委員会などがあり、より良いサービスの提供ができるよう法人内での研修や訓練を実施しています。

本法人では職員個々で虐待防止に関するセルフチェックを定期的に実施しており、チェック結果は委員会で集約し職員への研修内容や情報提供に反映するようにしています。

今年度は8月に『目に見えない身体拘束』と言われる『スピーチロック』をテーマに、虐待防止および身体拘束廃止に関する研修会を全職員対象に実施しました。

研修資料となる動画視聴やグループワークを通じて、日々の利用者さんとの関わり方の中での声かけの様子について話し合い、無意識に目に見えない身体拘束である「スピーチロック」を行ってしまっている可能性について考え、相手の立場に立った関わり方について学ぶ機会とすることことができました。



11月には感染症に関する研修会を実施しました。また、今年度は5月に感染症についての職員個々の理解度を確認するためのミニテストの実施し、その結果を踏まえた感染症対策に関する基礎知識の学習機会や昨年度の研修後に要望が多かった吐瀉物処理についての実地訓練も行いました。

今年度は全国的に例年よりも早くインフルエンザが流行しており、12月下旬現在も市内では高い水準で感染者数が報告されており、警報も継続して発令されている状況です。年末年始で人との接触が増える中、体調管理と併せて日々の感染予防にも引き続き取り組んでいきます。

天満屋グループ労働組合連合会 天満屋ストア労働組合 様

天満屋ストア労働組合様から、物品購入費用を助成（寄贈）していただき、贈呈式には同組合の中央執行副委員長 後藤様、天満屋ハピータウンポートプラザ店 店長 片岡様が来所されました。今夏は記録的な暑さが続いていましたが、すみれ工房では屋外での清掃作業などもあるため、屋外での熱中症対策用品（アイスハーネスとネッククーラー）、屋内用のサキュレーターなどを購入させていただきました。

清掃時に熱中症対策用品を使用された利用者さんからは「有ると無いとでは全く違いますね！」「これからの夏は、これがないと無理かもしれません。」といった声が挙がっていました。



あたたかいご支援 ありがとうございました

公益財団法人合人社財団 様



公益財団法人合人社財団様から、車両購入にあたっての助成を頂き新たに車両を購入しました。

「社会福祉法人 広島県共同募金会」を通じて「NHK歳末たすけあい義援金」の助成を受け、平成22年4月に配備してから10年以上、資材の運搬や作業活動、様々な行事での移動などに活躍し続けてくれていた車両も整備の限界が近づいていたことから、この度の助成を受けて入れ替えて配備となりました。前後にドライブレコーダーも装備され安全性も向上しています！

今後も安全運転を心掛けながら、日々の活動を行っていきます。

新年の初頭に思うこと

バラ会会長 田和桂子

新年明けましておめでとうございます。

昨年末のその年を表す漢字は「熊」でした。確かに昨年の熊被害は深刻なものでした。考えてみると、問題の「熊」や害獣と言われる動物たちも結局は人間の都合で生活の場を追われ、生きるために人里に出現しているのです。人間は便利さと快適さを追い求めるあまり、自分たちが大自然の一部であることを忘れ、かつては他の動物たちと共に存していた自然を破壊してきました。今更、現代の快適さを手放してかつてのような生活に戻ることは難しいとは思いますが、毎年のように温暖化による異常気象に襲われている現在、この「熊」被害を教訓にして私たちは立ち止まって考えるべきではないでしょうか。

また、昨年全体を見渡してみると、米価格の暴騰は収まらないまま私たち庶民は物価高に追い立てられ、政府は「低所得者層のための減税」と謳いながら実態は年収5～600万円以上の所得者層が恩恵を受けるというものであり、日々の生活に苦慮している本当の低所得者層は相変わらず生活の不安が消えることなく年越しをしたのではないかと思います。

さらに、少子高齢化が加速している中、福祉の需要は高まっているにもかかわらず福祉予算は切り詰められ、受益者負担の名のもとに年金生活者の高齢者は医療費を僱約しなければならなくなっています。当然のように障害者福祉も後退し、地域で生活できるようにと言葉では言いながら、そのための支援に関わる予算化は前進しないままです。前進しないどころか、いずれ後退する日が近いのではないかとさえ危惧せざるを得ません。なぜなら、福祉関係の仕事の報酬が改善しないまま訪問介護事業所などが相次いで閉業しており、福祉に携わる人手不足は一層進んでいくと思われるからです。これでは、福祉サービスも名目だけとなり、実際には使えないサービスが増えていくばかりです。

近年、「地域共生社会」という言葉をよく耳にします。けれどもその美しい言葉の裏には、福祉を地域に任せて、行政主体の「公助」から地域主体の「共助」に移行しようとする思惑がうかがえます。それも福祉予算の切り詰めが背景にあるからではないでしょうか。しかし、地域実態を見てみると地域のつながりは世代を追うごとに薄れ、自治会の役員とか民生委員のなり手がないという嘆きをよく聞きます。このような中で、孤立化する障害者や高齢者はどうやって生きていくべきでしょうか。

新年早々、「おめでとうございます」と言いながら、暗い話ばかりして申し訳ありません。とは言えまだ日本は言論の自由が憲法で保障されている平和国家だから、このような政府に対する批判も堂々と発言できます。けれども。「スパイ防止法」が策定されたり、戦争ができる国にするために憲法を変えようしたり、軍事予算を急激に拡大している今の日本の状況を見ていると何かちょっとした火種によって戦争に巻き込まれていくのではないかという不安を払拭することができません。

誰しも「戦争は反対だ」と言うでしょう。先の大戦も国民が望んでいたものではありません。けれども不況が続く中、政府の宣伝に踊らされてその気にさせられていったのです。政府首脳部でも敗戦のシミュレーションは在りながら、戦争に突入していったのです。その背景には一部の愚かな政治家の責任だけでは済まされない構造的な力が働いたことが分析されています。それは再び繰り返される可能性をはらんでいるということです。そして、ご存じのように実際に戦争に突入してしまったら言論の自由などありませんでした。

世界全体を見渡しても至る所で戦火が上がり、多くの場所で戦争の火種がくすぶっています。どうして日本だけがその火種をいつまでも被らないと言えるでしょうか。戦争に突入してしまったら、今の平和はおろか、命さえも脅かされることになるのは自明のことです。今年は戦後81年目となりますが、その長い平和の享受のために平和が当たり前となり、戦争に対する危機感も失われつつあります。ある日突然戦争に巻き込まれすべてを失ってしまうということにならないよう、国内は当然のこと世界情勢にも私たちアンテナを張り、国の動向を注視していく必要があると思います。

今の平和がいつまでも続くことを願ってやみません。子や孫、その先々まで今の平和が続くようにと。戦争体験者が次第にいなくなっていく中で、今こそ先の敗戦から学んだことをしっかりと振り返り、政治家にお任せするのではなく国民一人一人が現代社会の動きに重ねて考え、発言していかなければならぬと思います。こんなことを言うと大きな話を言っているように思われるかもしれません、決して大きな話ではなく、今の平和を守るための、今こそ真剣に考えるべき大変身近な話題であると思います。

来年もまた「新年あけましておめでとうございます」と笑って言えるよう、苦しさの中にも希望を持てる社会に私たちの力でつないでいきたいものです。そんな今年であることを願って新年のご挨拶といたします。

2025年度 第3回

家族会交流研修会

2025年 12月 18日

福山市精神保健福祉家族会(バラ会)

大人になってわかった発達障害者の家族会
(のぼらの会)共催

2025年度 第3回家族会交流研修会のご案内

精神障害・発達障害の方と良い関係を築くために

関わり方がわかれば、もっとコミュニケーションが取りやすくなります。本人とどう接したらよいかわからないという声をよく耳にします。本人のために良かれと思って当事者を追い込み、どんどん関係を悪くしていることもあります。私たち家族が正しく学び、まず家族が変わっていくことで、当事者との関係を改善し、結果的に精神障害・発達障害で生きづらさを抱えておられる方のリカバリーにつながることもあります。また、家族だけでなく支援者や一般の方々の、当事者の方への理解や接し方が変わることで、当事者の方たちが社会参加しやすくなっています。

当日は SST リーダーの田栗律子先生をお招きして、SST (ソーシャルスキルトレーニング) の方法をお話と実地指導を交えてご講演いただきます。支援する側のスキルアップだけでなく、当事者の方、コミュニケーションに不安のある方のソーシャルスキルアップにも役立ちます。様々な立場の方のご参加をお待ちしています。

ひとりで悩まないで、ともに学んでいきませんか？



日時 : 2026年3月15日（土） 13:30～15:30

場所 : すこやかセンター多目的ホール

演題 : 精神障害・発達障害の方と良い関係を築くために

講師 : SST リーダー 田栗律子先生

○参加費 : 無料

○問い合わせ先 : 070-9143-5903 (バラ会 田和)

*出席される方は、会場定員・資料準備の都合がありますので、必ずご連絡ください。

*申し込み締め切り日 3月6日(金)

福山市精神保健福祉家族会（バラ会）
 田和桂子 宛
 T E L 070-9143-5903
 Mail barakai2023@gmail.com

2025年度 第3回家族会交流研修会参加申込書

演題～精神障害・発達障害の方と良い関係を築くために～

ふりがな	
名 前	
年 代	
所 属	
職 種	<input type="checkbox"/> 医療従事者 <input type="checkbox"/> 障害福祉サービス等従事者 <input type="checkbox"/> 介護従事者 <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 産業保健関係（企業・団体） <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 家族会（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*連絡先(電話番号・メールアドレス)	

申し込み締め切り 3月6日（金）

- * 申し込みは電話、もしくはメールでお願いします。
- * ご記入いただいた個人情報は、この研修会の実施目的にのみ使用します。
- * 連絡先は記入されなくても構いませんが、今後情報提供させていただいても構わない方はご記入ください。

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

- ・岡田美枝・高橋恵子・公益財団法人合人社財団

★ 法人まどかへのボランティア

- ・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願ひいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める?
ここまでやってもらえるの?
まずは、ご連絡ください!

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの?
気軽にお問い合わせください!

ボランティア

何かできないかな?
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の行事予定（令和8年1月以降、4月まで）

2025(c) Social Welfare Corp.madoka	2025年 12月30日 ～ 2026年 1月5日	年末年始休業
	1月6日	仕事始め、初詣
	4月上旬	観桜会

その他行事は、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。

Facebook



HomePage



編集後記

あつという間に入社から7ヶ月が経ちました。入社当初の緊張感や不安も、優しい利用者さんや尊敬できる先輩方のおかげで、今では仕事への楽しさとやりがいに変わりました。まだまだ不慣れでご迷惑おかけしますが、日々努力し頑張ります！

よろしくお願い致します。（すみれ工房 目標工賃達成指導員 矢田貝梓）